

---

# 公益社団法人滋賀県社会福祉士会

## 2021年度 事業報告

---

### I 総括

2022年2月24日に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵略により、今なお多くの人々の命が奪われ、街が、暮らしが破壊され続けています。

「平和を擁護し、社会正義、人権、集団的責任、多様性尊重および全人的存在の原理に則り、人々がつながりを実感できる社会への変革と社会的包摂の実現をめざす専門職」である我々社会福祉士は、この事態を深く憂慮するとともに、ロシアによる軍事侵略行為が直ちに停止され、民主主義に基づき、ウクライナ国民の生活の安定が早急に回復することを切に求めます。

そして、傷つき、避難する多くの人々の支援を行っている国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）の地域組織である IFSW ヨーロッパ（International Federation of Social Workers Europe）に対して心より連帯の意を表します。

2021年度もコロナ禍の収束の兆しが見えず、社会的、経済的な状況がより一層深刻になり、様々な福祉課題が生じています。そのような状況のなか、人と環境の接点に介入するソーシャルワークにおいては、感染予防対策とそれに伴うジレンマを抱えながらも、日々福祉サービスの利用者、家族・家庭、地域の福祉課題に向き合い続けて実践を展開しています。

そして、滋賀県社会福祉士会（以下、「本会」という）は2021年6月の通常総会において新たな役員体制となり、コロナ禍でのジレンマを抱えながらも、会員の皆様の参画とご尽力のもと事業・活動を進めてきました。

まず、「公益事業部門」の主な事業・活動のうち、「権利擁護センターぱあとなあ滋賀」では、昨年度に比べて65件多い579件を受任し（いずれも2月末報告の件数）、社会福祉士の支援が必要な人たちに寄り添う権利擁護支援、後見活動を丁寧に積み重ねてきました。

また、「高齢者・障害者虐待対応支援ネット」による専門職チームでは、困難事例への相談対応、虐待対応ケース会議での助言など、10市2町に対して60回の高齢者・障害者の権利擁護に関わる支援を展開しました。

子ども家庭福祉分野では、コロナ禍で厳しい状況におかれている子ども達への支援の在り方を模索し続けました。そして、子ども家庭福祉分野のソーシャルワーカーの国家資格創設問題に対して、本会、医療ソーシャルワーカー協会、精神保健福祉士会の「滋賀県ソーシャルワーカー3団体」で厚生労働大臣政務官と子ども家庭福祉分野の会員が意見交換を行いました。

全国的にもこのような動きが展開され、その結果、新たな国家資格ではなく実務経験のある社会福祉士や精神保健福祉士が研修を受けて試験に合格すると取得できる民間資格とする方向となり、早ければ2024年度に「子ども家庭福祉ソーシャルワーカー」が誕生することになりました。

そして、社会福祉法改正に伴い重層的支援体制整備事業の取組みが進む中、その体制整備の一環として滋賀県から「包括的相談支援従事者サポート事業」を受託し、複雑で複合的な課題をもつ人の支援者に対し、寄り添い、ともに考え、支える「支援者支援」を行うとともに、知識・スキルの向上のための研修を開始しました。

「社会福祉士養成支援」では、コロナ禍における開催方法を適時・適切に判断しながら受験対策講座、模擬試験、実習指導者養成研修に取り組み、未来の社会福祉士と現場実習を担う社会福祉士の養成支援に取り組みました。

次に「収益事業部門」では、利用者とその家族がより安心できるサービスを提供するにはどうしたらよいか各事業者の関係者と調査員である会員が共に考えることを大切に、「認知症高齢者グループホームの外部評価」と「福祉サービス事業所の第三者評価」に取り組みました。

「相互扶助事業部門」では、生涯研修センターにおいて新規入会者及び認定社会福祉士を目指す会員の研修に取り組みました。昨年度は、試行錯誤しながらオンライン方式で取り組み、今年度は昨年度のオンライン方式による運営課題を改善しつつ、ハイブリッド方式で開催しました。

その結果、合計 79 名（基礎研Ⅰ：29 名・基礎研Ⅱ：27 名・基礎研Ⅲ：23 名）に受講していただくことができました。

また、「滋賀県ソーシャルワーカー 3 団体研修会」や「滋賀県介護のしごと魅力発信事業『しがけあ』」への参画など関係機関・団体と連携した取り組みを行いました。

一方、委員会活動においては、高齢者生活支援委員会が研修会を開催したものの、その他の委員会は開催できず、今後の委員会活動の在り方について課題を残すこととなりました。

このように 2021 年度は、コロナ禍であっても、会員の皆様のご尽力により本会の事業・活動を前にすすめることができました。

今後、社会福祉を取り巻くさらなる情勢変化や「地域共生社会」の実現をすすめる政策がメインストリームとなるなか、今後、本会会員の実践領域はさらに広がっていくことが予想されます。また、実践領域の広がりを促進するもの本会の役割であります。

そこで、本会理事会では、今後、本会が果たすべき役割と責任がより一層大きくなることを踏まえ、本会会員のソーシャルワーク実践の基盤をさらに整えるべき時期であると考え、会の基本規則である定款を改正すべき時期であるという結論に至りました。

そして、理事会での検討を重ね、3 月 26 日の臨時総会では定款改正案及び懲戒規則案を議案として提出しましたが、定款改正に必要な会員総数の 2/3 の出席者数には僅かに及ばず、残念ながら定款改正は成りませんでした。

2023 年 2 月 20 日に本会は、任意団体の時代から数えて設立 30 周年を迎えます。

30 周年の節目にあたり、会員の社会的信用をさらに高め、会員が安心して実践できる基盤を整えるために、定款改正の必要性を丁寧に説明し、これに取り組んで参る所存です。

## II 事業報告

### 【公益事業】

#### 1. 社会福祉の援助を必要とする滋賀県民への生活と権利擁護に関する事業

##### (1) 成年後見制度の普及活動と後見受任者の質の向上への取り組み

県下の権利擁護ニーズに応えるため、また、会員の権利擁護対応の質の担保及び向上のため、下記の内容にて「権利擁護センターぱあとなあ滋賀」（以下「ぱあとなあ滋賀」という）の活動の充実・強化を図りました。その他、日本社会福祉士会が実施した都道府県ぱあとなあ連絡協議会に2名を派遣し、各都道府県の成年後見制度利用促進計画の進捗状況や、虐待対応支援ネットの活動状況等の情報交換、全国的な後見実務の情報交換を行いました。2021年度の権利擁護センターとしての体制は以下の通りです。

センター長	奥村 昭（滋賀県社会福祉士会会長）
ぱあとなあ滋賀運営委員長	大原薫男
ぱあとなあ滋賀事務局長	横田章夫
権利擁護担当理事	村田才司（滋賀県社会福祉士会副会長）
権利擁護担当理事	尾崎 史（滋賀県社会福祉士会副会長）
権利擁護担当理事	竹村直人

##### 1) ぱあとなあ滋賀（部会活動）の充実・強化

###### ①後見活動の実施

2021年度下半期時点（2月報告時点）でぱあとなあ滋賀会員138名、後見335件、保佐181件、補助58件、任意後見5件、監督0件、あわせて579件を受任（昨年度同時点で514件）。

後見人が一人で全責任を負うこととなる後見活動の内容をぱあとなあ定期報告チェック部会にてチェックするとともに、下記定例会において後見実務の質問や情報交換を行うことができる場を確保し、必要に応じ対応策の助言、意見交換を行っています。

昨年度に引き続き、養成研修を実施し、ぱあとなあ滋賀としての担い手の確保に取り組むようになり、今後も会員数が増加する見込みであることから、地区毎にブロック研修を行い、少しでも顔の見える関係を構築し、定例会への参加呼びかけや、会員間の情報交換、支援の体制が取れるよう努めました。

###### ②定例会の開催 6つのブロックそれぞれでの開催へ

今年度より定例会を6つのブロックでの開催に切り替え、それぞれのブロックの運営委員による定例会開催が実施されております。主に（ア）運営委員会の報告、（イ）家庭裁判所からの推薦案件についての情報共有、（ウ）ぱあとなあ滋賀会員のフォロー…後見事務に関する質問や情報交換、（エ）会員の後見活動の質の向上を目的としたブロック毎の研修企画・開催について、を主な内容としています。

###### ③運営委員会の開催と体制整備

地区担当者及び権利擁護担当理事が運営委員となり、毎月の定例会がブロック毎に開催となり、運営委員会を分けて毎月第2土曜日の午後1時～ZOOMで開催しました。運営委員会では、主にぱあとなあ滋賀の組織運営に関わる決定事項を検討しました。また、ぱあとなあ会員の後見活動に関し、福祉関係機関その他の機関からの苦情等がある場合等にその対応について協議を行いました。さらに、そのようなぱあとなあ会員の後見活動について、必要な場合は運営委員複数で当該会員の面談を実施し、

課題の洗い出し、意見聴取、対応協議等を組織的対応の中で実施しました。特に成年後見制度の利用促進に関する国の動き、県の動き、各市町の動きに注視し、今後、中心となる中核機関にばあとなあ滋賀がどう関わっていくかについても対応協議をしてまいりました。

今後は体制整備の上で必要となるばあとなあ滋賀としての諸規定を整備し、会全体としても取り組まれる苦情解決、業務監査の部分、そして会員の後見事務に関するチェック機能、フォローアップなどに取り組み、制度を利用されるご本人の権利を擁護し、後見事務の質の担保に繋がる取り組みをしてまいりたいと考えます。

運営委員長(担当理事)大原薫男

<地区担当運営委員>

湖東北ブロック 澤和子、山内克仁、西川由香里

湖南ブロック 田中美穂子、重田直美

大津ブロック 川口敏男、佐藤順子

高島ブロック 吉原正栄、杉島隆

東近江ブロック 平良久美、村松政子

甲賀ブロック 島田一子、藤井陽子、望月俊有

<ばあとなあ滋賀事務局>

事務局長 横田章夫

事務員 久保香奈子

<相談役 権利擁護担当理事>

村田才司 尾崎 史 竹村直人

#### ④関係機関との連携、何でも相談会への相談員派遣

家庭裁判所との連携を密にし、他機関や県民からの成年後見制度に関する相談や依頼に対応するための体制を整備しました。特に2019年度より実施されている三士会（弁護士会、司法書士会、社会福祉士会）と家庭裁判所裁判官及び主任書記官との意見交換には、村田副会長、大原運営委員長が参画し、「担い手の確保・後見人等への報酬の算定・減算加算の検討について」や市町の報酬助成についても声があり情報共有を行ないました。

また、県内福祉圏域のほぼ全てで、高齢者や障害者を対象とし、様々な士業や専門職が集まり相談に応じる総合相談が実施されるようになったことで、社会福祉士にも福祉や成年後見、権利擁護に関する専門職として相談員派遣要請がなされています。地域のニーズに応えること及び相談対応をおこなった会員の質の向上並びに他専門職とのネットワークの構築を目的として、運営委員会を通して各ブロックにて人員を広く募り、積極的に会員派遣を行いました。

<三士会との協議>

2021年6月25日(金) 午後4時～ 村田副会長 大原委員長

2021年10月22日(金) 午後4時～ 村田副会長 大原委員長

<都道府県ばあとなあ連絡協議会>

2021年11月6日(土) 午前10時30分～ 大原委員長 桐高会員

#### ⑤部会活動の充実

##### ア. 研修部会

ばあとなあ滋賀会員が社会福祉士としてその倫理綱領、行動規範を基に成年後見動が行なわれるよう研鑽を深め、知識と技術の習得を重ねられるよう、年度を通して研修の場を企画しています。また名簿登録に関して更新研修の義務化に向け、準備を進めています。

<研修企画会議>

・部会員で研修の企画運営打ち合わせ。

2021年11月6日(土) 必須である更新研修の打合せ。

義務化を目指す全体研修の件。

#### イ. 法人後見部会

昨年度法人後見事業に向けて、法人後見事業を実施している法人等の状況を把握しながら一定の方向性をまとめ、中間とりまとめを作成しました。今後も検討を重ね、体制整備を進めます。

#### ウ. 成年後見人材育成研修及び名簿登録研修

<準備委員会>

2021年4月24日(土) ZOOMでの会議

2021年6月18日(金) ZOOMでの会議

2021年7月26日(月) ZOOMでの会議

(内容)

- ・具体的な内容、流れについて・日程の決定・講師候補・体制づくり
- ・タイムスケジュール・募集要項・外部講師依頼・スケジュール確認
- ・受講者向け日程案内・事前課題の確認・事前課題スケジュール・当日の確認

2021年11月6日(土) 採点終了後、対面で名簿登録研修打ち合わせ

- ・そのほか SLACK(アプリ)を使った情報の共有や打ち合わせ
- ・研修当日、終了後随時打ち合わせ

<研修日程>

2021年8月7日(土)

2021年9月3日(金)

2021年10月2日(土)

2021年11月6日(土)

<名簿登録研修日程>

2021年12月4日(土)

#### 2) 県民のための成年後見制度活用セミナーの開催

県民セミナー部会を中心に、2022年3月19日(土)開催で企画いたしましたが、新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み中止とさせていただきます。

#### 3) 近畿ブロックとの調整

- ・近畿ブロックぱあとなあ担当者会議への参加

2021年10月16日(土) 出席者 大原委員長、横田事務局長

【議題】

- ア) 各府県における成年後見制度利用促進計画の進捗状況を意見交換する。
- イ) 近畿ブロック各府県の成年後見新人育成研修、継続研修の取り組み内容を確認。
- ウ) 各府県におけるぱあとなあへの苦情対応に関する情報交換。

#### (2) 高齢者・障害者虐待対応支援ネットによる専門職チームの活動

滋賀弁護士会とともに、契約先自治体の担当課や地域包括支援センターでの困難事例への相談対応、虐待対応ケース会議での助言など、高齢者・障害者の権利擁護事業に関わる支援を行いました。

2021年度は新たなメンバーが7名加わり、社会福祉士28名、弁護士14名の計42名で活動しました。

#### 1) 契約先市町の状況

2021年度契約市町(10市2町 高齢・障害とも契約)

【高齢者・障害者の契約市町】

高島市、愛荘町、守山市、栗東市、湖南市 草津市、甲良町、甲賀市、近江八幡市  
野洲市、米原市、長浜市

## 2) 活動内容

### ①ケース会議等への派遣回数

長浜市5回、米原市3回、高島市18回、愛荘町1回、近江八幡市12回、野洲市2回、守山市2回、栗東市1回、湖南市0回、草津市14回、甲賀市2回、甲良町0回

### ②定例会の開催

2か月に1回、専門職チームに所属している弁護士及び社会福祉士が、運営上の課題等について協議を行っています。今期については5月12日(水)、7月14日(水)、9月8日(水)、11月10日(水)、1月12日(水)、3月9日(水)にオンラインで実施しました。

### ③運営委員会の開催

2か月に1回、社会福祉士会の運営委員が専門職チームにおける社会福祉士としての課題解決に向けた協議を行いました。

運営副委員長：尾崎史（運営委員長は弁護士会 室田剛志氏）

運営委員：小川学、桐高とよみ、坂口航一郎

### ④研修会の開催

自治体への対応力向上に向けたチーム全体のスキルアップを目的とした研修を開催しました。

【第1回】5月15日(土)

「高齢者・障害者虐待防止法について」講師：田嶋明日香

「高齢者・障害者虐待対応のポイント」講師：尾崎史

【第2回】7月17日(土)

「養護者による高齢者虐待の総合演習」講師：村田才司

【第3回】9月18日(土)

「施設従事者による虐待事例の演習」講師：小川学

【第4回】2月19日(土)

「施設従事者等による障害者虐待事例」講師：竹下育男

### ⑤助言についての検証

市町への派遣後の振り返りを目的とした検証会を定期的に開催し、事例に対する市町への助言のスキル向上や社会福祉士として抑えておくべき点などの確認を行いました。

今期は、6月9日(水)、10月13日(水)の2回実施しました。

### ⑥事例検討会

会員の育成を目的とした事例検討等勉強会を12月8日(水)、2月9日(水)の2回実施しました。

## (3) 子ども家庭福祉に関わる社会福祉士の連携を継続できる基盤づくり

子どもの権利擁護と地域における子ども家庭支援を担う社会福祉士としての力量を高めるために、会員相互のネットワークを構築し、情報交換、相互支援、研鑽等を行なうとともに、子ども家庭福祉の推進に向けた活動の推進を図っています。

### 1)コア会議

子ども家庭福祉委員会のコアメンバーを形成し、委員会活動全般について協議予定。

①子ども家庭支援研修会の企画（子ども若者・地域養護含む）11月19日予定

②学校園等におけるいじめ対策、調査への推薦依頼に対する体制構築

③いじめ問題に関する社会福祉士としての実践報告等の情報提供

④SSW養成研修に向けての 県教委との意見交流（6月）

⑤滋賀としてのSSW養成に関する調査研究

→SSW 実践ガイドライン研修 日本社会福祉士会 子ども家庭支援員会参加

## 2) 子ども家庭福祉研究会の開催

児童福祉分野で働く社会福祉士のつながりづくりを目指し、研修及び実践交流を行いました。

### ① 子ども家庭支援委員会研修会（令和4年1月16日）

草津市立市民交流プラザ 20名参加 オンラインと会場とのハイブリット形式

（児童福祉 医療 教育 SSW 高齢者福祉 障害児者福祉 就労若者分野 等）

講師：野田正人氏

内容：コロナ禍における子ども家庭福祉支援 こども家庭庁の動向 生徒指導提要の改定に関すること 関係機関連携等

## （4）事業所等相談アドバイス事業の実施

滋賀県再犯防止推進計画の一環（国のモデル事業になっています）として、社会福祉士会が事務局を担い、県行政や専門家チーム（ASB：「反社会的行動を伴った障がい者」に対する地域支援検討委員会）と連携し、地域で犯罪行為歴のある人を支援している人への「支援者支援」を実施しました。

② 相談受付：5件

② インテーク訪問：4件

③ 検討委員会：4件

④ 再犯防止推進会議への参画：2回

⑤ 支援者向けQ&A冊子の活用

「警察にお世話になりそうな人からなった人まで ～刑事司法にかかわる福祉支援者のためのハンドブック～」を発行し、支援者への啓発と支援に役立てていただけるよう活用しました。

## （5）包括的相談支援従事者サポート事業の実施

この事業は、滋賀県の「令和3年度重層的支援体制整備に向けた取組」の中で、本会が県から受託し実施しています。

### 1) 事業内容

複雑で複合的な課題をもつ人の支援者に対し、寄り添い、ともに考え、支える「支援者支援」を行うとともに、知識・スキルの向上のための研修を実施しました。

### 2) 事業実績

今年度はコロナ感染防止のための対策として、アドバイス内容の検討会や研修については地域や参加者を絞りながら実施しました。

緊急事態宣言の発令などを受け、直前にZOOMによるオンライン研修にするなど状況に合わせて工夫しながらの実施となりました。

#### ① 相談支援者を対象にした、面談、アウトリーチによる相談・助言

・ 4月から3月の実績：受付7件・会員延べ33人参加

（内訳）

介護支援専門員…1回；調整・アセスメント2回

長浜市社協…1回；会員2名参加

長浜市地域包括支援センター…2回；会員2名参加・調整アセスメント14回

長浜市…1回；会員2名参加・調整アセスメント9回

障害者支援相談員…1回；会員1名参加・調整アセスメント3回

長浜市米原市社協相談支援包括化推進担当…1回・会員5名参加

#### ② アドバイス内容の検討会

・ 事務局会議…1回（6月）参加者：事務局長、会員

・ 事業実施コアメンバー会議の開催…4回（7月、9月、11月、2月）

（相談支援内容についてふりかえりも実施）参加者：正副会長、事務局長、会員

- ・重層的支援体制整備市町等との協議…3回：長浜市、長浜社協、米原社協、会員

### ③研修会・事例検討会の実施 2回

- ・9月6日（月）10:00～11:30

ZOOM オンライン研修（アセスメントとアプローチの研修）

研修演題「寄り添った家族支援のために」三つの家を使った支援

講師 子ども・家族・援助者のパートナーシップ研究会 社会福祉士 寺田 陽子

参加者 長浜社協と米原社協の重層的支援体制の相談支援包括化推進員等

- ・1月25日（火）9:00～11:30

ZOOM オンライン研修（長浜市地域包括支援センター保健師研修会）

研修演題「多問題を抱え、意思決定支援に悩むケース」

内容「事例の振り返り、アセスメントや支援方法について意見交換、アドバイス」

参加者 長浜市地域包括担当職員、長浜市内地域包括支援センター保健師等

講師・助言者（本会会員） 尾崎史、中村真理、横井弘隆

### ④その他

- ・11月26日（金）

滋賀県主催：第2回重層的支援体制整備事業市町担当者会議に参加（ZOOM）

（滋賀県から受託している「相談者へのサポート事業」の周知を行った）

- ・12月～1月

厚生労働省委託日本社会事業大学オンデマンド研修に会員3名参加

（～地域を支えるみなさんと、新たな福祉実践を考える～

包括的支援体制と地域共生社会・共生社会の実現に向けた総合研修）

## 2. 社会福祉の知識の普及・啓発・調査研究、社会福祉士の職務に関する知識・技術の向上、倫理及び資質の向上、養成支援等

### （1）社会福祉および社会福祉士に関する調査研究

#### 1）制度政策委員会

滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会（事務局：県社協）に委員として参画し、滋賀県に対する社会福祉施策・制度に関する要望を行いました。

#### ①滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会への参画

[第1回]

開催日：2021年7月30日（金）

会場：県立長寿社会福祉センター

出席：横田事務局長

#### ②滋賀県健康医療福祉部長への要望

- ・新型コロナウイルス感染拡大により中止

#### ③県議会各会派への要望

[自由民主党]

開催日：2021年6月11日（金）

会場：滋賀県庁 議員室

出席：高田相談役

[チームしが]

- ・新型コロナウイルス感染拡大により中止

<要望事項>

滋賀県におけるヤングケアラーの実態調査及び総合的な施策化の推進

## 2) 第5回滋賀県多職種連携学会への参画

[第1回実行委員会]

開催日：令和3年7月1日（木）

委員会にて出された意見を理事会に諮り協議し、本年も参画することとしました。

## (2) 社会福祉士の養成支援

### 1) 社会福祉士養成支援委員会

専門知識を有した社会福祉士を養成することを目的とします。

社会福祉士国家試験を受験する人に対し、受験対策講座および全国統一模擬試験を実施しました。

また社会福祉士の養成に必要な現場実習が実りの多いものとなるよう、実習指導者の育成を目的とした実習指導者講習会を実施しました。

#### ①全国統一模擬試験の実施

実施日 2021年11月13日（土曜日）

会場 県立長寿福祉センター

受験者 22名

#### ②社会福祉士実習指導者講習会の運営

開催日 2021年11月21日（日曜日）と11月28日（日曜日）

会場 ピアザ淡海

受講者 18名受講・修了

#### ③社会福祉士国家試験受験対策講座の実施

受講者 17名

日程	会場	I	II	III	IV	V
7/31(土)	長寿センター	地域福祉の理論と方法		相談援助の基盤と専門職		
8/28(土)	※ZOOM オンライン	低所得者に対する支援と生活保護制度		保健医療サービス	社会理論と社会システム	
9/11(土)	※ZOOM オンライン	現代社会と福祉		障害者に対する支援と障害者自立支援制度		
9/25(土)	※ZOOM オンライン	就労支援サービス		高齢者に対する支援と介護保険制度		
10/9(土)	長寿センター	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度		心理学理論と心理的支援		社会調査の基礎
10/30(土)	長寿センター	権利擁護と成年後見制度	社会保障	人体の構造と機能及び疾病	福祉行財政と福祉計画	
11/27(土)	コミセンやす	更生保護制度	福祉サービスの組織と経営	相談援助の理論と方法		

※新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置および緊急事態宣言が発令された期間において、ZOOMを使用したオンライン開催としました。

#### ④社会福祉士養成支援委員会の開催

開催日 2021年5月7日（金）オンライン会議

参加者 4名

主な議題 委員1名の退任。

受験対策講座・模擬試験・実習指導者講習会を今年度に開催するかどうかを協議しました。

開催日 2021年8月3日（火）

会場 フェリエ南草津

参加者 7名  
 議題 委員長・副委員長の選任。担当理事の変更。  
 受験対策講座・模擬試験・実習指導者講習会について、  
 ※主として感染症対策について協議しました。  
 開催日 2021年12月13日（月曜日）  
 会場 大津市市民活動センター  
 参加者 6名（オンライン2名）  
 議題 次年度の事業計画について

#### ⑤近畿ブロック実習班会議

開催日 2021年4月17日（土）  
 6月5日（土） 出席者 川島会員  
 8月21日（土） 出席者 川島会員  
 10月16日（土） 出席者 川島会員

### （3）研修講師派遣事業（有償出前講座）

滋賀県社会福祉協議会介護福祉人材センター/福祉研修センター主催の『福祉・介護従事者（事業所）のための「研修講師派遣事業」』に講師を派遣するとともに、本会有償出前講座に講師を派遣しました。

事業所名	テーマ	参加人数	実施日	時間
一般社団法人 no-de	職員間の尊厳・権利擁護、職員による利用者に対する虐待防止	10名	8月21日（土）	18:00～19:30
特定非営利活動法人 きらら	虐待研修	20名	9月4日（土）	10:00～11:30
滋賀県立むれやま荘	事故防止対策について	10名	12月7日（火）	16:15～17:15

### （4）傍楽体験事業の実施

「コミュニケーションが苦手」「働くことに不安がある」など働きたいけれど不安を感じておられる方々が、はじめの一步を踏み出せるきっかけにつなげていくことを目的に、「傍楽体験事業」を実施しました。

毎月第2木曜日発行の事務局通信の封入・発送作業を通じた、「小さな働く場」づくりに取り組んでいます。

実施回数 12回  
 参加人数 35名（延べ参加者 74名）

## 【収益事業】

### 1. 社会福祉事業のサービス評価

#### （1）滋賀県健康福祉サービス第三者評価事業への参画

滋賀県が2000年から取り組んでいる「滋賀県健康福祉サービス第三者評価事業」は、事業者が自らのサービスについて評価する「自己評価」、事業者でも利用者でもない第三者の評価機関が評価する「第三者評価」等があり、事業者自らの取組により、健康福祉サービスの質の向上を図るとともに、利用者によるサービス選択に資することを目的としています。

本会も 2017 年 12 月に滋賀県第三者評価機関の認証を取得し、県内の福祉サービス事業所（介護事業所・障害福祉事業所・保育園等）を対象とした福祉サービス第三者評価事業に取り組みます。

## （２）認知症高齢者グループホームの外部評価の実施について（第三者評価委員会の活動の充実・強化）

本会は、2005 年度から認知症高齢者グループホームの外部評価機関として滋賀県の認証を受けて調査・公表を実施してきました。2007 年度からは、「地域密着型サービス」の外部評価機関として活動しています。2009 年度からは、外部評価の実施回数や自己評価項目・外部評価項目等の見直しが行われ、地域密着型サービスが「介護サービス情報の公表」制度の適用対象となり、本会も必要な対応を行いました。

2012 年度の診療報酬・介護報酬の同時改定により地域密着型サービスの事業所要件や報酬が見直しされたこと等があり、本会としても高所大所から再考し、調査費用の見直しや調査員の拡大などに取り組み、第三者評価事業への貢献度を一段と高めることとしました。

本会が行う外部評価は、「福祉の専門職」である本会会員と、「利用者」「家族」の立場である公益社団法人認知症の人と家族の会滋賀県支部会員が連携して調査員となり利用者の方、ご家族の安心と満足、心地よさ、快適さの向上を図るため、更によりよいサービスを提供するにはどうしたらよいか、各事業者の関係者と一緒に考えることを大切にしています。

### 1) 認知症高齢者グループホームの外部評価ならびに公表

#### 【調査実施日】

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| ①GH さくらんぼ      | 2021 年 7 月 13 日（火） |
| ②GH 和楽         | 2021 年 8 月 23 日（月） |
| ③GH そまがわ       | 2021 年 9 月 17 日（金） |
| ④GH 鈴の家        | 2021 年 12 月 2 日（木） |
| ⑤GH Be スマイルあど川 | 2021 年 12 月 8 日（水） |
| ⑥GH 楽日荘        | 2022 年 2 月 15 日（火） |
| ⑦GH ひいらぎの里     | 2022 年 3 月 8 日（火）  |
| ⑧GH やすの憩       | 2022 年 3 月 11 日（金） |
| ⑨GH さくらテラス     | 2022 年 3 月 17 日（木） |
| ⑩沖野原 GH        | 2022 年 3 月 22 日（火） |

### 2) 福祉サービス事業所の第三者評価

- ①社会福祉法人虹の会「ドリーム・あんです」「ドリーム・だんだん」  
2021 年 11 月 16 日（火）・17 日（水）調査
- ②社会福祉法人たかしま会 障害者支援施設「藤美寮」  
2022 年 3 月 31 日（木）調査

### 3) 第三者評価機関・調査員の資質の向上にむけた取り組み

- ・第三者評価委員会の開催 年 6 回（奇数月の第 3 土曜日）
- ・第三者評価委員会において情報交換及び研修の実施

### 4) 地域密着型サービス事業所への PR 活動の取り組み

- ・新規事業所に対する活動…県からの指定情報の提供を受けて、直ぐに PR チラシを郵送する。
- ・新規に受託した事業所に対する PR 活動…初めて受託した事業所に対しては、事前に事業所を訪問し説明会を行っている。

○第三者評価委員会の開催と評価件数の推移

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
開催回数	6回	6回	6回	6回	6回	6回	4回	3回	4回	2回
件数	9件	11件	12件	12件	5件	10件	6件	9件	5件	10件

## 【その他の事業】（相互扶助等事業）

### 1. 社会福祉士の知識・技術および倫理・資質の向上

#### （1）生涯研修センター運営委員会

社会福祉士は専門職として、政策・制度や福祉ニーズの変化に対応し、また質的にも利用者からの信頼に耐え得るソーシャルワーカーを目指して、常に自らの専門性を向上させていく必要があります。そのため、日本社会福祉士会では1999年度より生涯研修制度を開始し、2012年度より滋賀県社会福祉士会が所属する会員の社会福祉士の職務に関する知識及び技術の向上、倫理及び資質の向上のために、生涯にわたって研鑽を重ねることを支援するために、生涯研修の情報や機会を提供することとなりました。

生涯研修制度は基礎課程、専門課程の2つの課程からなり、基礎課程は滋賀県社会福祉士会に新しく入会した社会福祉士が必ず受講する課程となっており、本年度は基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲを実施しました。研修実施のため、運営委員会を開催し、円滑に研修を実施できるよう調整を行いました。なお、基礎研修講師および、ファシリテーターとして年間延べ講師37名、ファシリテーター47名が研修に関わりました。

なお、滋賀県として会4項目を基本的な考え方として研修を行うこととしました。

- 1 滋賀県社会福祉士会会員自身が互いに育てあう関係での研修を実施する
- 2 社会福祉のプロとして自身の振り返りの場としての研修へ参加する
- 3 社会福祉のプロとして自身の業務の発信の場（講師となって自らの業務を発信する）とする
- 4 様々な部門の者が集い、連携構築を図る場とする

#### 1) 生涯研修センター運営委員会（集合研修講師・研修委員会・事務局会議・近プロ大会）の開催

2021年	4月13日（火）	オンライン会議
	7月10日（土）	オンライン会議
	9月7日（火）	オンライン会議
	11月21日（日）	オンライン会議

#### （2）会員研修の実施

##### 1) 新規入会者及び認定社会福祉士を目指す社会福祉士に対する基礎研修Ⅰの実施

受講者数 29名

###### [集合研修1]

開催日 2021年10月23日（土）

場 所 オンライン及び対面研修

内 容 社会福祉士の歩み・組織、生涯研修制度、社会福祉士の専門性

###### [集合研修2]

日 時 2022年1月29日（土）

場 所 オンライン及び対面研修

内 容 社会福祉士の専門性の理解、倫理綱領・行動規範、倫理綱領の現場適用

2) 基礎研修Ⅱの実施 受講者数 27名

開催日	時間	科目
2021年7月17日(土) (オンライン及び対面)	9:30~13:00	・相談援助の視座と展開過程(オリエンテーションを含む) 講師:西倉 邦浩
2021年8月7日(土) (オンライン及び対面)	9:30~16:50	・実践のためのアプローチ 講師:磯崎 圭一郎 ・自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク 講師:坂本 彩
2021年9月4日(土) (オンライン及び対面)	9:30~16:50	・集合研修1「実践事例演習」 講師:上村 文子
2021年10月2日(土) (オンライン及び対面)	9:30~16:50	・社会資源の理解と社会資源開発 講師:中原 一隆 ・連携システムのあり方とネットワークの構築 講師:北垣 由桂
2021年10月23日(土) (オンライン及び対面)	9:30~16:50	・地域における福祉政策と福祉計画 講師:関守 英幹 ・社会福祉調査の方法と実際 講師:磯崎 圭一郎
2021年11月20日(土) (オンライン及び対面)	9:30~16:50	・スーパービジョンとは ・スーパービジョンのモデルセッションを見る ・スーパーバイザー体験 講師:尾崎 史・池田 周平
2021年12月18日(土) (オンライン及び対面)	9:30~13:00	・実践研究の意義と方法 講師:乾 昌典
2022年1月8日(土) (オンライン及び対面)	9:30~16:50	・実践研究のための記録 講師:大原 薫男 ・実践評価の方法 講師:上村 文子
2022年1月29日(土) (オンライン及び対面)	9:30~16:50	・実践研究発表の方法 講師:奥村 昭
2022年2月19日(土) (オンライン及び対面)	9:30~16:50	・社会福祉における法Ⅰ 講師:木村 真由子 ・ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅰ 講師:竹村 直人
2022年3月19日(土) (オンライン及び対面)	9:30~16:50	・社会福祉における法Ⅱ 講師:田村 幸司 ・ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅱ 講師:中村 真理

3) 基礎研修Ⅲの実施 受講者数 23名

開催日	時間	科目
2021年7月17日(土) (オンライン及び対面)	9:30~16:50	・対人援助と事例研究 ・事例研究の基本枠組み 講師:磯崎 圭一郎 ・事例研究の方法としてのケースカンファレンス 講師:磯崎 圭一郎
2021年8月7日(土) (オンライン及び対面)	9:30~16:00	・事例研究のための事例のまとめ方 講師:谷口 周作 ・実践事例研修Ⅱ

		講師：小寺 信子
2021年9月4日(土) (オンライン及び対面)	9:30～15:30	・模擬事例検討会 講師：山口 浩次
2021年10月2日(土) (オンライン及び対面)	9:30～16:50	・意思決定の支援 講師：桐高 とよみ
2021年10月23日(土) (オンライン及び対面)	9:30～16:50	・地域における福祉活動 講師：奥村 昭
2021年11月20日(土) (オンライン及び対面)	9:30～16:50	・社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営 講師：高田 佐介 ・福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント 講師：島田 一子
2021年12月18日(土) (オンライン及び対面)	9:30～13:00	・リスクマネジメント、苦情解決システム 講師：森嶋 友里子
2022年1月8日(土) (オンライン及び対面)	9:30～16:00	・事例研究（苦情・リスク・サービス評価） 講師：島田 一子
2022年1月29日(土) (オンライン及び対面)	9:30～16:50	・地域の課題解決に向けた具体策について 講師：高田 佐介
2022年2月19日(土) (オンライン及び対面)	9:30～16:00	・新人教育プログラム 講師：松井 邦夫
2022年3月19日(土) (オンライン及び対面)	9:30～15:00	・スーパービジョンのモデルセッション 講師：海部 久美

#### 4) 全国研修担当者会議への参加

2021年10月17日(土) (オンライン開催)

出席者 横田事務局長、島田会員

#### 5) 近畿ブロックとの調整

近畿ブロック研修委員会への参加

2021年9月18日(土) 出席者 木村理事

2022年2月5日(土) 出席者 木村理事、磯崎会員

### (3) 高齢者生活支援委員会

社会福祉士会組織における委員会の位置づけを明らかにし、高齢者の生活課題を、社会問題として捉え、社会福祉士会として共有した上で、それらの課題解決に向けた活動を推進しました。

当委員会の意義や必要性を理事会で協議し、他の委員会等の活動強化を図ることを目的に、2022年度より新たな委員会活動へと移行します。

#### 1) 研修会の開催

課題意識を共有化し、目的意識を持って課題解決、社会福祉士の質の向上に向けた内容を検討し、開催しました。

日時：2022年2月23日(水・祝)

形態：オンライン (Zoom) 開催

テーマ：福祉職に役立つ『コーチング』を学ぶ

講師：野村 和代 氏 (平本式認定講師ベーシック)

#### (4) 障害者生活支援委員会

当委員会の意義や必要性を理事会で協議し、他の委員会等の活動強化を図ることを目的に、2022年度より新たな委員会活動へと移行します。

#### (5) 生活困窮者支援委員会

当委員会の意義や必要性を理事会で協議し、他の委員会等の活動強化を図ることを目的に、2022年度より新たな委員会活動へと移行します。

## 2. 社会福祉専門団体・行政・社会福祉士養成校協議会等との連携

### (1) ソーシャルワーカー団体の連携推進

#### 1) 3団体との連携

子ども家庭福祉に従事する者の新たな国家資格制度創設検討の動きに対して、これに反対し、現行の社会福祉士と精神保健福祉士を基礎とした「2階建て」とするよう、社会福祉士会、医療ソーシャルワーカー協会、精神保健福祉士会で子ども家庭福祉に関わる会員が出席して地元国会議員と意見交換を行いました。

小鍬厚生労働大臣政務官への要望

日 時 2021年5月15日(土)

会 場 小鍬隆史滋賀事務所(大津市)

出席者 医療ソーシャルワーカー協会 会長 谷口周作  
滋賀県社会福祉士会 副会長 奥村昭

「小鍬厚生労働大臣政務官と滋賀県内ソーシャルワーカー3団体との懇談会」の開催

日 時 2021年7月20日(日)

会 場 草津市民総合交流センター

出席者 滋賀県社会福祉士会  
岩田俊幸会員、上村文子理事、横田章夫事務局長  
滋賀県医療ソーシャルワーカー協会(3名)  
滋賀県精神保健福祉士会(4名)

#### 2) 3団体合同研修会の実施

日 時 : 2022年2月23日(水・祝)

形 態 : オンライン(Zoom)開催

テーマ : 子どもの権利を護るために私たちができる事  
～ヤングケアラーの問題を通じて～

講 師 : 加藤 雅江 氏

杏林大学保健学部健康福祉学科 教授日本精神保健福祉士協会 常任理事

### (2) ソーシャルワーカーデー関連事業の開催中止

海にちなんで、毎年海の日をソーシャルワーカーに対する関心と理解を深める「ソーシャルワーカーデー」とし、例年は研修会を開催しておりました。今年も昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響により、研修会などの関連事業を中止しました。

### (3) 行政・他団体・機関等との協力・連携

#### 1) 介護職員人材育成・確保対策連絡協議会への参画

滋賀県の介護職員の育成と確保を目的に、各種団体等により構成された協議会に参画し、滋賀県としての方向性や取り組み等の検討を行っています。

社会福祉士会としては、介護の魅力等発信部会に参画し、介護の魅力発信やイメージアップを図るための催し等の検討・企画を行っています。

今年度については、滋賀県介護のしごと魅力発信事業連絡調整会議が開催され、介護の魅力発信を目的としたイベント開催に向けた協議を行ってきました。

2022年2月6日（日）にイオンモール草津を会場とし、滋賀県介護のしごと魅力発信事業「しがけあ」が開催されました。

滋賀県社会福祉士会では、滋賀県社会福祉士会魅力発信事業イベント調整部会を立ち上げ、当イベントへの参画方法等の話し合いを行い、スライド動画を製作し、上映するという形で参画しました。

新型コロナウイルスの蔓延状況から、辞退する団体もいくつかあり、当初の予定よりも規模を縮小しての開催となりましたが、滋賀県社会福祉士会としては、当日参画も達成し、微力ながら魅力発信に貢献できたものと考えております。

#### ①介護職員人材育成・確保対策連絡協議会

2021年7月16日（金）

令和3年度第1回滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会（ZOOM開催）

2022年3月29日（火）

令和3年度第2回滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会（書面開催）

#### ②滋賀県介護の魅力等発信部会

2021年7月9日（金）

令和3年度第1回滋賀県介護の魅力等発信部会（ZOOM開催）

2021年8月2日（月）

令和3年度滋賀県介護の魅力等発信部会臨時ミーティング（ZOOM開催）

2021年11月1日（月）

令和3年度第2回滋賀県介護の魅力等発信部会（ZOOM開催）

2022年3月31日（金）

令和3年度第3回滋賀県介護の魅力等発信部会（ZOOM開催）

#### ③滋賀県介護のしごと魅力発信事業連絡調整会議

2021年9月22日（水）

令和3年度第1回滋賀県介護のしごと魅力発信事業連絡調整会議（ZOOM開催）

2021年10月28日（木）

令和3年度第2回滋賀県介護のしごと魅力発信事業連絡調整会議（ZOOM開催）

2021年11月4日（木）

滋賀県介護のしごと魅力発信事業「しがけあ」のYouTube取材（大阪）

2021年11月11日（木）

滋賀県介護のしごと魅力発信事業「しがけあ」特設サイトの開設

2021年11月26日（金）

令和3年度第3回滋賀県介護のしごと魅力発信事業連絡調整会議（ZOOM開催）

2022年1月17日（月）

令和3年度第4回滋賀県介護のしごと魅力発信事業連絡調整会議 現地視察（草津）

2022年1月28日（金）

令和3年度第5回滋賀県介護のしごと魅力発信事業連絡調整会議（ZOOM開催）

2022年2月6日（日）

滋賀県介護のしごと魅力発信事業「しがけあ」イベント開催（草津）

#### ④滋賀県社会福祉士会魅力発信事業イベント調整部会

2021年9月21日（火）

令和3年度第1回滋賀県社会福祉士会魅力発信事業イベント調整部会（近江八幡市）

2021年11月26日（金）

令和3年度第2回滋賀県社会福祉士会魅力発信事業イベント調整部会（ZOOM開催）

2022年1月14日（金）

令和3年度第3回滋賀県社会福祉士会魅力発信事業イベント調整部会（ZOOM開催）

## 2) しが介護の職場合同入職式実行委員会

介護業界のイメージアップと、滋賀県内で就職した職員の定着を目的に、介護関係の職場に入職した職員につきまして、毎年、滋賀県全体で入職式を開催しています。

今年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、ハイブリッド形式にて2021年5月18日（火）に式典及び研修会が開催されました。当事業は毎年6月末までを1期として事業を進めています。下半期は、2022年開催に向けた新たな実行委員会として協議を進めているところです。

2021年4月20日（火）

2021年度第3回「しが介護の職場合同入職式」実行委員会（ZOOM開催）

2021年5月18日（火）

2021年度しが介護の職場合同入職式及び研修会開催（ハイブリッド開催）

2021年6月22日（火）

2021年度第4回「しが介護の職場合同入職式」実行委員会（ZOOM開催）

2021年10月20日（水）

2022年度第1回「しが介護の職場合同入職式」実行委員会（ZOOM開催）

2021年12月6日（月）

2022年度第2回「しが介護の職場合同入職式」実行委員会（ZOOM開催）

2022年2月14日（月）

2022年度第3回「しが介護の職場合同入職式」実行委員会（ZOOM開催）

## 3) 滋賀県介護・福祉人材センター運営委員会

介護・福祉人材の確保・定着支援・ネットワークづくりの推進のため、滋賀県介護・福祉人材センターの事業を効率かつ円滑にするための意見交換の場として委員会が設置され、滋賀県社会福祉士会としても当委員会に参画しています。

2021年10月18日（月）

第1回介護・福祉人材センター運営委員会（ZOOM開催）

2022年3月24日（木）

第2回介護・福祉人材センター運営委員会（ZOOM開催）

## 3. 広報委員会の運営

「みんなで笑顔になる仕事」というキャッチフレーズのもと以下の事業を計画しましたが、あまり進められておりません。

### 1) 広報紙（はと・めーる）の発行

コロナ過における本会および社会福祉士の活動について、また社会福祉士として知っておく必要のある社会課題について取り上げていく方向での準備にとどまり、今年度内の発行には至りませんでした。

### 2) ホームページ・オフィシャルブログの管理運営

ホームページについては、研修や事業の通知・募集はバナー化して掲示していく事で周知を図ることができました。

広報誌ははと・めーると同様に、社会福祉士の活動について広く周知を図る内容を取り入れたいと考えてのものです。

ブログ「滋賀県社会福祉士会のひろば」については、研修事業・ブロック活動情報等を中心に迅速な当会の活動についての情報提供を行えるように役員・事務局・各委員会及びブロック担当者との連携を図りながらサイトの管理運営に努めました。

### 3) 本会の紹介パンフレットの刷新や啓発グッズの作成

この項目については行っていません。

### 4) 広報委員会の開催・委員の活動

広報委員の募集を行いながら、10名のメンバーでの活動でした。

### 5) 滋賀県介護の魅力等発信部会との連携

滋賀県介護のしごと魅力発信事業に本委員が出演するなど、同部会と連携した活動を行いました。

## 4. 災害対策支援委員会の運営

県内各福祉関係団体とともに大規模災害発生時、当会のネットワークや会員のエンパワメントを活かした活動を行うことを目的として発足しています。また、災害時に活動できる福祉専門職養成研修など、近畿ブロック各府県士会と連携を深めています。

2021年4月1日に滋賀県と滋賀県災害派遣福祉チーム（DWAT）の協定締結を行い、災害発生時に滋賀県社会福祉士会としてのチーム員派遣の形づくりを含めた検討を当委員会にて検討を進めているところです。

今年度、滋賀県健康福祉政策課が中心となり、しが DWAT の活動にかかる要綱・マニュアル作成が進められており、2022年3月22日に参加団体にしが DWAT 要綱改正についての意見ヒヤリングが行われました。

滋賀県社会福祉士会へも意見ヒヤリングがあったため、確認事項や意見等を附して提出を行いました。県や他団体と協働するためにも、要綱やマニュアル整備を待つて本格的な委員会活動を進めることとしています。

また、県からの DWAT 要請があった場合の事前準備として、当会より県が主催する DWAT 養成研修へ、会員から参加いただくよう、事務局通信等で積極的な呼びかけを行いました。現在17名の方がしが DWAT チーム員として登録をされています。

2021年7月16日（金）

令和3年度滋賀県災害派遣福祉チーム（DWAT）にかかる意見交換会

2022年3月22日（火）

しが DWAT 要綱改正についての意見ヒヤリング（滋賀県健康福祉政策課より）

## 5. 地域単位の組織化

活動の一層の活性化を図るため、ブロック代表を中心に自主的な研修や交流を進め、福祉圏域を単位とするブロック活動の推進を行いました。

### 1) 甲賀ブロック

開催日 2021年11月30日（火）

テーマ 「わたし」と「ソーシャルワーク」

～見つめてきたこと、これから見つめたいこと～

会場 甲賀市まちづくり活動センター「まる一む」

講師 生涯研修委員長 木村 真由子

## 6. 近畿ブロック研究・研修和歌山大会の開催

近畿6府県において毎年開催している近畿ブロック研究・研修大会については、本年度和歌山県にて開催とし、コロナウイルス感染症対策のためオンラインによる開催としました。

開催日 2022年2月5日（土）（オンライン配信期間は2月18日（金）まで）

テーマ 「社会福祉士の普遍的価値と新しいつながり方の模索～できること・信じること・護るべきもの～」

内容 研究・実践発表（録画動画配信）

【査読委員会】

開催日 2022年11月6日（土）オンライン

委員 奥村 昭

## 7. 基金の運営

これからも増大する滋賀県民の社会福祉に関するニーズに的確に応え、会の発展と将来に向けて、利便性の高い、情報管理等のセキュリティにも配慮した長期的活動の基盤機能を備えた社会福祉士会の事務所を確保する必要があるほか、成年後見活動において、困難事例についての組織的な対応により適切な後見活動が行えるような体制整備を検討する必要があることから、各会員が、会を通して受ける報酬、講師謝礼等からの寄付により設置している2つの基金の拡充に取り組みました。

### ①事務所整備基金

将来的な会員入退会管理や会費事務等に備えるとともに、新生涯研修制度や認定社会福祉士制度に対応する生涯研修センターの機能を持つなど事務管理、会議運営、研修体制すべてに対応するための機能を備えた事務所整備に取り組むため、資金準備の寄付金の募金活動を、本会20周年を契機として2012年度から開始し、目標額を400万円に設定し取り組んでいます。

基金残高 1,732,822 円（2022年3月31日現在）

### ②成年後見体制整備基金

ばあとなあの活動における報酬が付与されない事例に対する会員活動費の補填や法人後見実施のために、各会員の判断による寄付により創設する基金。主に、ばあとなあの活動報酬等を対象に各会員からの寄付申し出により積み立てました。

基金残高 5,315,812 円（2022年3月31日現在）

## 8. 組織基盤の強化

公益社団法人としてのガバナンス見直し、強化するために弁護士と顧問契約をし、苦情対応をはじめとした法人運営にかかる諸規程の見直しに着手しました。

## 9. 事務局の充実

公益社団法人移行に伴い、適正かつ透明な事務局運営を目指して取り組みを進めます。

### 1) 事務局通信の発行

定期発送に合わせ、毎月発行を行いました。

### 2) 公益社団法人に対応した事務処理体制の確立

滋賀県総務部総務課の指導も受けながら、公益法人の基準に則った運営に努めました。

## 10. 近畿ブロック社会福祉士会との連携事項

[代表者会議]

2021年6月17日（木） 尾崎副会長・横田事務局長出席 オンライン開催

2021年8月29日（日） 奥村会長・横田事務局長出席 オンライン開催

2022年2月5日（土） 奥村会長・横田事務局長出席 オンライン開催

## 11. 公益社団法人日本社会福祉士会との連携事項

### (1) 総会への参画

- 通常総会 2021年6月19日(土) オンライン開催
- 臨時総会 2021年10月2日(土) オンライン開催
- 臨時総会 2022年3月19日(土) オンライン開催

### (2) 各種委員会活動への参画

- 1) 都道府県会長会議 2021年10月2日(土) オンライン開催  
奥村会長出席
- 2) 都道府県ばあとなあ連絡協議会 2021年11月6日(土) オンライン開催  
大原委員長、桐高会員出席
- 3) 全国生涯研修委員研修会議 2021年10月17日(土) オンライン開催  
横田事務局長、島田会員出席

### (3) 中央研修等への会員派遣

- 1) 社会福祉士の倫理綱領・行動規範の伝達に向けた試行研修  
2021年8月15日(日) オンライン開催 尾崎副会長出席
- 2) スクールソーシャルワーク実践アドバイザー養成研修  
2021年11月28日(日) オンライン開催 上村理事出席
- 3) 新スーパーバイザー養成研修  
2021年10月30日(土)～31日(日) 町野会員出席

## 12. 総会・理事会の開催

### (1) 総会の開催

#### 1) 2021年6月12日(土)(定期総会)

- 出席者：372名(出席18名・委任状29名・書面表決者325名)
- 報告事項 2020年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会事業報告について
- 第1号議案 2020年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会決算の承認について
- 第2号議案 定款の変更について
- 第3号議案 役員を選任について
- 連絡事項 2021年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会行事予定について

#### 2) 2022年3月26日(土)(臨時総会)

- 出席者：359名(出席<sup>㉗</sup>名・委任状47名・書面表決者285名)
- 報告事項1 2022年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会事業計画について
- 報告事項2 2022年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会予算について
- 第1号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会定款の改正について
- 第2号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会の会費に関する規則の一部改正について
- 第3号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会懲戒規則の制定について
- 連絡事項 2022年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会行事予定について

### (2) 理事会の開催

#### [第1回] 2021年4月28日(水)

- 第1号議案 定期総会について
- 第2号議案 2021年度第一次補正予算(案)について
- 協議事項
- ①委員の推薦について
- ②大規模災害時の福祉避難所等における人的支援に関する協定書における責任者について

**【第2回】 2021年5月19日（水）**

第1号議案 2020年度事業報告（案）について

第2号議案 2020年度決算（案）について

第3号議案 定款の変更について

第4号議案 理事立候補者について

第5号議案 監事の選出について

第6号議案 入会者の承認について

協議事項

①委員の推薦について

②認知症高齢者グループホーム外部評価手数料額の改定について

③支援ネット活動費について

④新理事体制における業務分担について

⑤講師謝金の値上げについて

**【第3回】 2021年6月12日（土）**

第1号議案 会長の選定について

第2号議案 副会長の選定について

第3号議案 副会長の順序について

**【第4回】 2021年6月23日（水）**

第1号議案 入会者の承認について

第2号議案 選挙管理委員の任命について

協議事項

①委員の推薦について

②社会福祉士の倫理綱領・行動規範の伝達に向けた試行研修について

③新理事体制における業務担当について

**【第5回】 2021年7月28日（水）**

第1号議案 入会者の承認について

協議事項

①滋賀県地域養護推進協議会への参画について

②滋賀県介護のしごと魅力発信事業について

③滋賀県地域福祉支援計画に対する意見について

④新理事体制における業務担当について

⑤医療福祉・在宅看取りの地域創造会議総会・研修会の参加について

**【第6回】 2021年8月25日（水）**

第1号議案 入会者の承認について

第2号議案 費用弁償に関する規則の一部改正について

協議事項

①高齢者生活支援委員会の活動について

②ぱあとなあの活動に関する課題について

**【第7回】 2021年9月22日（水）**

報告事項

①会長及び副会長の職務執行状況報告について

第1号議案 弁護士との顧問契約について

協議事項

①委員の推薦について

②事務局通信の封入物における信書の取扱いについて

③オンライン研修におけるトラブルシューティングについて

④市町村職員向け虐待対応現任者研修（県共催）の開催について

**【第8回】 2021年10月27日（水）**

第1号議案 入会者の承認について

協議事項

- ①委員の推薦について
- ②滋賀県立虎姫高校よりの依頼について
- ③研修講師派遣事業について
- ④2021年度上半期事業報告の作成について
- ⑤MSW協会事務所負担金について
- ⑥諸規程の整理・整備について

**【第9回】 2021年11月24日（水）**

第1号議案 2021年度上半期事業報告（案）について

協議事項

- ①2021年度臨時総会及び2022年度通常総会の開催日程について
- ②三士会要望書について
- ③ばあとなあの活動に関する課題について
- ④諸規程の整理・整備状況について

**【第10回】 2021年12月22日（水）**

第1号議案 入会者の承認について

協議事項

- ①第32回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉学会の開催検討について
- ②2022年度事業計画・予算の作成について
- ③高齢者生活支援委員会研修会について
- ④諸規程の整理・整備状況について
- ⑤成年後見制度に関する県民セミナーの開催について
- ⑥ばあとなあの活動に関する課題について

**【第11回】 2022年1月26日（水）**

第1号議案 入会者の承認について

第2号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会事務局の組織及び運営に関する規則の改正について

協議事項

- ①臨時総会について
- ②2022年度事業計画・予算について
- ③2022年度基礎研修の開催について
- ④委員の推薦について
- ⑤ばあとなあ滋賀受任調整について
- ⑥「2023年度予算・制度に関する提案」の募集について
- ⑦支援ネット活動における意向アンケートについて
- ⑧公益社団法人滋賀県社会福祉士会委員会及び事業部会の設置及び運営に関する規則の改正について
- ⑨諸規程の整理・整備状況について

**【第12回】 2022年2月1日（水）**

協議事項

- ①定款・規則の改正について

**【第13回】 2022年2月15日（火）**

第1号議案 委員会及び事業部会の設置及び運営に関する規則の改正について

協議事項

- ①定款・規則の改正について

**[第14回] 2022年2月24日（木）**

報告事項

①会長及び副会長の職務執行状況報告について

第1号議案 2022年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会事業計画案について

第2号議案 2022年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会予算案について

第3号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士の会費に関する規則の一部改正について

第4号議案 定款の改正について

第5号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会懲戒規則について

協議事項

①2022年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会年間行事予定について

②委員の推薦について

③滋賀県医療ソーシャルワーカー協会事務所負担金の見直しについて

④ばあとなあ滋賀設置運営規則の制定について

**[第15回] 2022年3月23日（水）**

第1号議案 2021年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会第二次補正予算案について

協議事項

①定期総会について

②2022年5月理事会の開催日程について

③2021年度事業報告書の作成について

④委員の推薦について

⑤臨時総会について